

認知症の方とも

茨城キリスト中

一年

朝日

優羽

学校行事下、認知症サポーター養成講座

を受けた。認知症の方とどのように接すれば

よいのかを学べた。貴重な時間だった。

認知症について、誰もが今後なる可能性

のある、特別ではない病気」ということを再

確認できました。そして、先生方好演の劇で、認

知症の方との接し方を楽しみながら学ぶこと

ができました。私に認知症の方との交流で参考に

したいことは二つある。

一つ目は、認知症を患っている知り合いが

いた場合、街で見かけた違和感のある行動を

取り、しているときは、声をかけることだ。例と

して、買い物から帰る途中で見かけた、家と

違う方向に歩いていっているな」と思ったら、声を

かけた、一緒に正しい方向へ帰ることに誘われ

られる。絶対に無視してはいけない。また、

声をかけるときにもポイントがある。知った、

それは、相手の前に立ち、顔を見ながら声を

かけ、自分の名前を言うことだ。お年寄りや
認知症の方は、顔を見ないで話しかけられる
と驚いて不審に思っている。もしもうらやましい。きちん
と顔を見せ、自分の名前を言い、相手に安心
してもらえらるようになることだ。大專の
だと思いた。

二の目は、認知症の方に寄り添うことだ。
例として、夕飯をさき食べたりはかりたり
お腹が空いた。夕飯はまだか？と聞かれ
たら、さき食べたりはかりたりと否定せず

に、まずは相手の言葉や思いを受け取り、
そうだね。お腹空いたね。できるとこれ
食べ待つていようかい。というふうな言葉を
かけることだ。また、話し方にも
ポイントがある。それはいのちと同じ
ように話すことである。突き放すような言
方や、相手を幼児のように扱う話し方は相
手のプライドを傷つけたり、相手の
気持ちや尊重し、相手のプライドを傷つ
けないことだ。大專だと思いた。

私がこの講座で一番心に残った言葉は、
「みなさんは今日から認知症サポートです。
ただ、私はずっと、認知症サポートと
いう資格があるのだと思います。でも、そ
の講座を聞いて、私たち一人一人が誰か、
認知症サポートしたいのだと思います。認知症に
ついて理解し、認知症の方と接しよう、どん
な風に接すればいいかなと思ったり、
接してあげたいんだとわかったら、その時
点で誰しも認知症サポートしたいと気付い
たからである。大事なことは、認知症につ
いて、認知症の方の力になりたい、とい
う気持ちだと思ったり。その気持ちや
みんなの心に広まれば、認知症の人も、
えうでいい人も、みんなが楽しく暮ら
せると思ったり。その対象が認知症の方
だけでなく、障害のある方、
や、外国人の方、にまで広がれば、本
当に良未来が見えてくると思ったり。そ
の未来はみんなが笑顔の楽しい世界だ。
えんた世界をみんな下の人に上げてい
こう。